

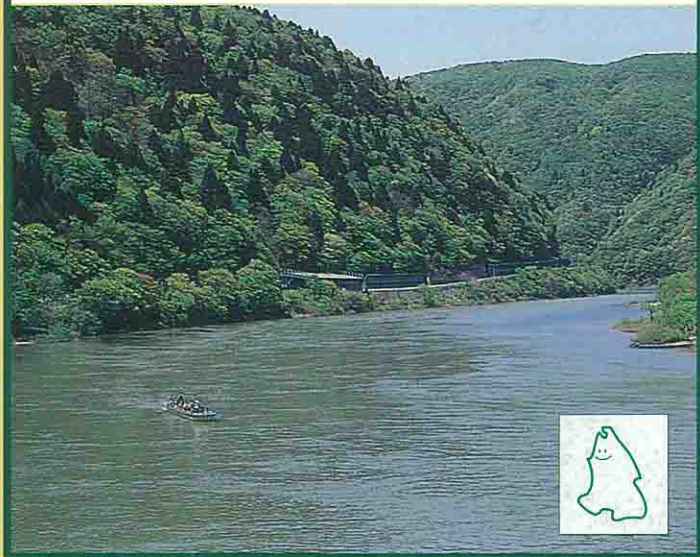
NEW OKUNO HOSOMICHI YAMAGATA

# 新・奥の細道

一周ルート

⑦

最上峡と歴史のみち



山形県

NEW OKUNO HOSOMICHI YAMAGATA

# GUIDE

みどころ案内

最上峡は、最上川が庄内平野に抜ける手前、出羽丘陵を貫く峡谷で約16Km続く。かつては、船が重要な交通手段で、源義経をはじめ、俳人松尾芭蕉や正岡子規も船で下った道です。また、最上川の両岸の山々が急峻で、流れに削られた断崖がそびえ立ち、絶壁から「白糸の滝」を始め48の滝が流れ落ち、天然杉の「山ノ内杉」が群生する、四季折々の景観が楽しめるコースです。

## 最上川舟下り

Mogamigawa-hunakudari

舟下りには2つのルートがあります。一つは「最上峡芭蕉ライン舟下り」で、古口の戸沢藩船番所から最上峡ふるさと村(レジャーランド)を經由して草薙の最上川リバーポートまでの間12キロメートルを約1時間かけて下る舟下りです。船頭さんの戸沢弁なまりの英語版舟歌がおもしろい。冬の納豆汁や地酒を楽しみながらの雪見舟も風流です。もう一つは「最上川義経ロマン観光」の遊覧船が草薙の白糸の滝ドライブインからでています。最上峡を周遊し、仙人堂に止まり、またドライブインまで戻ってくるコースで所要時間1時間。また、仙人堂から対岸の高屋駅への渡しも就航しています。同じく冬には雪見舟もでています。



◎利用案内 ・最上峡芭蕉ライン観光 料金1970円 TEL0233-72-2001  
 ・最上川義経ロマン観光 料金1930円 TEL0234-57-2148  
 ※料金は標準的なコースの料金です。

## 山の内杉

Yamanouti-sugi

最上峡一帯に見られる天然杉で、土湯杉、神代杉、仙人杉とも呼ばれています。樹齢1000年を越えていると思われる老木がたくさんあります。幹が地上1.5〜3.0メートルの位置からタコ足状に分かれていて、太いものは幹回り15メートルもあります。枝葉が細く、地上4メートルから伐っても枯死しないともいわれています。一帯の天然杉はアシオスギともいわれ、ブナなど広葉樹との混交林であり、貴重なものです。



## 白糸の滝

Siraito-no-taki



草薙温泉、白糸の滝ドライブインの対岸にある滝です。日本の滝100選のひとつで、高さ124メートルの名瀑。源義経の一行が奥州へ逃げるとき、北の方から滝の名前を聞かれた家来がとっさに答えたのが名の由来だといわれています。滝下に赤鳥居と不動堂があり、舟下りの名所となっています。

## 仙人堂

Sennindo

外川神社とも呼ばれ、古くから農業の神として、また最上川を上下する舟人を守る神として厚く信仰されています。源義経が兄頼朝から追われ、奥州下りの途中この地で、従者の常陸坊海尊が義経と別れて御堂にこもり、主人の道中安全を祈りながら山伏修行の後、奥義をきわめ、仙人になったという伝説があります。この海尊が800年前建立したと言われており、このため仙人堂には天狗面や足駄が奉納されています。松尾芭蕉は「奥の細道」の中で「白糸の滝は青葉の隙々に落ちて、仙人堂、岸に臨み立。水みなぎって舟あやうし。」と記しています。



## 沓喰、外川集落

Kutsuhami,togawa-shuraku

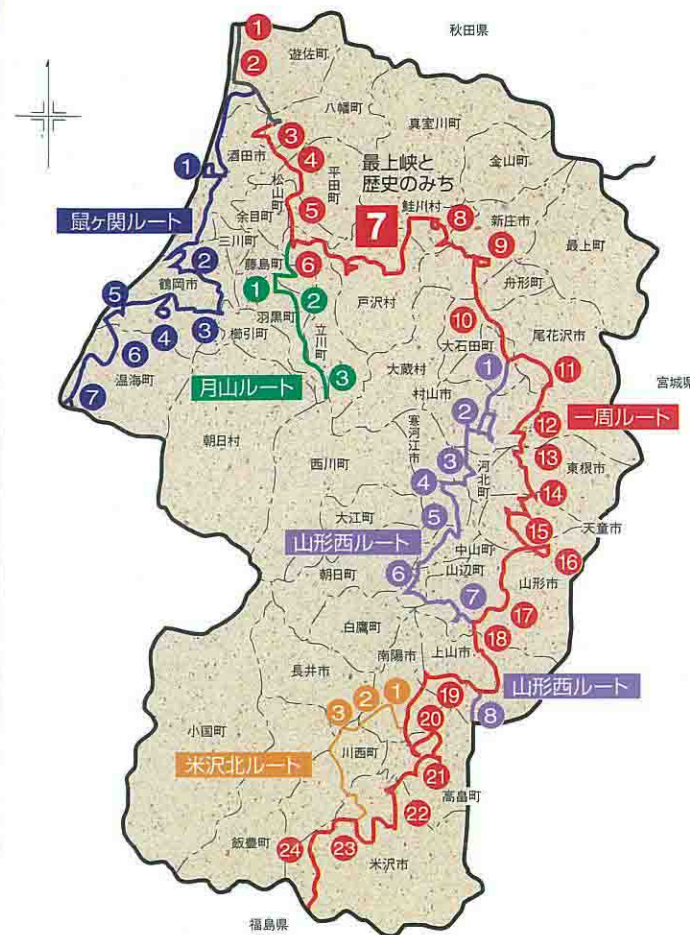
沓喰は現在廃家を残すのみで今では最上川ふるさと村(レジャーランド)になっています。外川は2世帯のみとなっています。自然歩道はこの二つの集落を結ぶ、生活道を整備したものです。かつて、最上川の舟運が盛んな時、最上川は内陸と庄内を結び京都大阪へ米、紅花を輸送する大動脈でした。このため最上峡に点在しているこの集落は、舟が転覆した場合に救助する「助け屋敷」としてなくてはならない集落でした。しかし、国道や鉄道が整備され、特に昭和30年代から生活が大きく変わり昭和40年頃から世帯流出がはじまりました。沓喰は昭和47年までに全世帯が移り、外川に残っているのは現在2世帯だけになっています。沓喰分校は昭和44年、外川分校は昭和53年に廃校になりました。



外川集落

# YAMAGATA MAP

東北自然歩道(新・奥の細道)ルート図



## “新・奥の細道”とは

自分の足でゆっくり歩きながら、森や川、野鳥や虫など豊かな自然にふれあい、また、その地域の特徴ある文化や歴史と親しむためのみちです。“新・奥の細道”は正式には東北自然歩道といえます。この自然歩道は、一日で歩ける程度の遊歩道を1つのコースとして、コースの間をバスなどでつなぎながら東北を一周する長距離自然歩道です。そして、この道は福島県白河を起点とし、宮城、岩手、青森、秋田、山形の順で経路して福島県郡山に至るルートになっています。

また、この“新・奥の細道”は東北を一周するルートの他に、景観の優れた地域や名勝地等に向かうルートがあります。県内でも、月山ルート・鼠ヶ関ルートなど4つのルートがあり、山形県内のルートをあわせた総延長は45コースで469Kmとなっています。

この“新・奥の細道”を楽しむために

- 1.コースのみどころ、地形、距離をあらかじめ調べて、余裕のある日程を組みましょう。
  - 2.歩きやすい服装で、荷物は最小限にとどめましょう。
  - 3.天気予報に注意して、天気のいい日を選んでゆっくり歩きましょう。
- この3つを守り、友人と、家族と、さあ出発!

## おねがい

- ・ゴミは捨てないで持ち帰りましょう。
  - ・たばこの投げ捨てや、山火事には十分注意しましょう。
  - ・案内板や休憩所はみんなのものです。大切にしましょう。
  - ・美しい自然は、人間だけのものではありません。草花や虫たち、小鳥たちのためにも自然を汚さないようにしましょう。
- そして、美しい自然を後世まで伝えていきましょう。

このみちは、年金積立金還元融資を受けてつくられました。

## 周辺のアクセスガイド

- 古口駅までは
- ・JR陸羽西線で新庄駅から21分
- ・新庄から車で25分
- 高屋駅までは
- ・JR陸羽西線で新庄駅から30分
- ・新庄から車で30分



|            |  |               |
|------------|--|---------------|
| 観光・宿泊のお問合せ | 戸沢村観光協会<br>〒999-64 最上郡戸沢村大字古口270       | ☎0233-72-2111 |
| 交通のお問合せ    | 最上峡芭蕉ライン観光株<br>〒999-64 最上郡戸沢村大字古口270   | ☎0233-72-2001 |
|            | 最上川交通株<br>〒999-64 最上郡戸沢村大字古口77-1       | ☎0233-72-2001 |
|            | 最上川義経ロマン観光<br>〒999-64 最上郡戸沢村大字古口1496-1 | ☎0234-57-2148 |
|            | 戸沢観光タクシー<br>〒999-64 最上郡戸沢村大字古口348-4    | ☎0233-72-2711 |
| コースのお問合せ   | 戸沢村産業振興課<br>〒999-64 最上郡戸沢村大字古口270      | ☎0233-72-2111 |
|            | 山形県環境保護課<br>〒990-70 山形市松波2-8-1         | ☎0236-30-2206 |

表紙の写真は最上峡舟下り